

ふるさとの文化財探訪

伝承に残る注意喚起とネット社会

文化財調査員 後藤浩二

「夏のハイシーズンになると、毎日のように複数の負傷者が出、救急車が日に何度か来るそうです。・・・」

これは竜門の滝事故で検索したときの、某有名旅行雑誌の書き出しです。

この後、生々しい目撃談や皆さんもご存知の事故等について紹介されます。

「いくらなんでも・・・」と、思いました。

竜門の滝は九重町の代表的な観光資源であり、ケーブルテレビでも紹介されています。悲しい話です。しかし、こうも思いました、「何も知らない観光客に安全に楽しんでもらうには、こうした情報も必要なのかもしれない」と。

私も幼いころ、祖母に連れられて遊びに行ったことがあります。まだ道が舗装されていない頃の話です。

そこには、うっそうと茂った木々に囲まれ緑色の水をたたえた神秘的な滝がありました。

水辺に立ち、吸い込まれるような恐怖で足がすくんだのを覚えています。

もちろんその頃から大きなお兄ちゃん達は、水遊びをしていたのですが。

祖母は私にこう言いました。「昔、上ん松の木から飛び込んで頭を打ち割って死んだ、お兄ちゃんがおるんよ」

「特に上の滝壺は、どんくらしい深い

か分からんきね、絶対に泳いだらいけないよ」と。そして続けて次のような伝説を話してくれました。

「この滝には竜が住んじよてね、昔、そんなこつを信じん侍が、試しに潜ってみたつち、じゃがどこを探してん竜はおらんかったと、「ほおれみろ、でまかせじゃわ!」と、水の底ん大木に座ると、ずるつと動いたち、それは、なんと竜の胴体じゃつち。」「竜が出た!」侍があわてて逃ぐるると、竜は渦を巻いち天に上つたんと。」私は恐怖を感じると同時に、どこか神聖なものを見る様な気持ちで滝を見上げたのを覚えています。

皆さんは大津波記念碑をご存知だと思います。東日本大震災で有名になりましたが、ここから下には家を建てるなど子孫に警告している碑です。

今考えると、祖母が話してくれた伝説は、形こそ違いますが、これと同じ注意喚起だった様な気がします。

懐かしくなり、久々に竜門の滝に行きました。昔、滝壺のそばまで行ける道があった

と思います、行ってみると閉鎖されており、近くには無縁仏の石碑が立っていました。



幸せになろうね



No.292

ミナマタの学習を行いました

野上小学校では、5年生の総合的な学習の時間に「九重とミナマタをつなぐ水(命)の旅」をテーマに学習を行っています。昨年度より実際にミナマタへ行き、現地の視察・水俣病患者さんとの交流を行ってきました。

今年度はコロナ禍でミナマタに行くことができなかつたので、リモートで「共同作業場ほっとはうす」に勤める水俣病患者さんと交流を行いました。5年生はこれま

でに8時間程度総合的な学習の時間等でミナマタについて学んでいます。

患者さんたちは自己紹介し、生き立ちや今どんな生活をしているかを紹介してくれていました。その間、子どもたちは画面をしっかりと見つめ、メモを取り、真剣な姿を見せていました。交流の授業から、責任・人権・健康・人生・食・安全・自然・環境・支援・産業などについて考えさせられました。

九重町すべての学校で、これからも人権授業は行われます。子どもたちの深い学びにつながっていくことを期待しています。

教育振興課



『アンソロジーで肩慣らしを』 「アンソロジー」というカタカナ語…マンガや小説が好きの方は聞いたことがあると思います。文学のジャンルのひとつで、特定のテーマの下に様々な著者の作品を一冊にまとめた作品集のことを言います。この「アンソロジーもの」は、このごろ本を読む習慣が途切れてきた、読める時間が減ってきたという方にも…



一つひとつが短いから、ちょこっとずつ読みやすかった。

(お話も作者も) いろいろあるからお得な感じ。

好きな話(テーマ)ばかりだから良かった。

…と好評です。実は…10分間の読書は、同じ時間の音楽、散歩、珈琲、テレビ、ゲームを超えて最もストレス解消効果があるらしいですよ！(英国サセックス大学調べ)。スキマ時間に本を開いてみませんか？アンソロジーならどこから読んででも大丈夫！好きなジャンルや作家を選んで読み始めてください。「スキマ時間には読書！」と題してミニ展示コーナーでお待ちしています。

時代小説アンソロジー

「春はやて／平岩弓枝・藤原緋沙子(他)」「夏しぐれ／諸田玲子・柴田錬三郎(他)」同シリーズで「秋びより」「冬ごもり」もあります。「絆を紡ぐ／藤沢周平・永井路子(他)」「志に死す／池波正太郎・山本周五郎(他)」「江戸旨いもの尽くし／宇江佐真理・山本一力(他)」「おやこ」「情に泣く」「なぞとき」など、ベテラン作家のシリーズが多数あります。

NHK国際放送が選んだ日本の名作

「1日10分のしあわせ／角田光代・宮下奈都(他)」「1日10分のごほうび／赤川次郎・原田マハ(他)」「1日10分のぜいたく／あさのあつこ・高田郁(他)」※1日10分シリーズは、NHK国際ラジオで全世界に放送された日本の人気作家の短編集です。

ミステリー系小説アンソロジー

「ステイホームの密室殺人1・2／乙一・佐藤友哉(他)」「泣ける！ミステリー父と子の物語／沖方丁・小路幸也(他)」「5分でドキッとする！意外な恋の物語」※5分シリーズは他にも多数あります。

お知らせ

●「おはなし会」毎月第2土曜日 10:30~11:00

12月の担当は「ぶちトマト」のみなさんでした。1月は「チームそらまめくん」のみなさん(1/9の予定)です。ほっこりとしたおはなし会へ。おともだち、待ってます！

●「奇贈本のお知らせ」

九重町出身で、集英社で長年編集のお仕事をされていた方から「田辺聖子全集」を18巻ご寄贈いただきました。ほぼ新品箱入りの美しい本です。有難うございます！皆さま、どうぞご利用ください。

ま、どうぞご利用ください。

●「年末年始の休館について」

12/28(月)~1/4(月)の期間、図書館は休館いたします。この期間の本の返却は、文化センター玄関横のブックポストをご利用ください。DVDは、破損の危険があるのでポスト返却はしないでください。一年間、図書館をご利用いただきありがとうございました。来年もたくさんのご利用をお待ちいたしております。皆さま、良いお年を！

新刊・新着図書案内

~今年の読み納めの1冊、何を選びますか？来年は1/5(火)10時から開館します！~

●児童書・コミック

生ゴミからエネルギーをつくろう！ 池谷裕二
 コンガラガッチャナになつてすすむ？の本 ユーフラテス
 ほげちゃんとおともだち やぎたみこ
 水族館のサバイバル1・2 ゴムドリコ
 動物たちが教えてくれる海の中のくらし 佐藤克文
 捨てられる食べものたち 井出留美
 もう投げ出さない！続けるチカラ 深谷圭助
 おしりたんていのこい！？ トロル その他多数

●一般図書

JR 上野駅公園口(全米図書賞) 柳美里
 滅びの前のシャングリラ 凧良ゆう
 青田波(新・酔いどれ小次郎シリーズ19) 佐伯泰英
 ひかりの魔女③さっちゃんの巻 山本甲士
 スター 朝井リョウ
 ハグとナガラ 原田マハ
 メモリーを消すまで 山田悠介
 とわの庭 小川糸
 デルタの羊 塩田武士
 日没 桐野夏生
 始まりの木 夏川草介
 もっこすの城 伊東潤
 善医の罪 久坂部羊
 ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人 東野圭吾
 「グレート・ギャツビー」を追え ジョン・グリジャム
 平安女子は、みんな必死で恋してた イザベラ・ディオニシオ
 12のタイプから人の強みが一瞬でわかる「魔法のスイッチ」 マツダヒロ
 テレワーク入門 在宅勤務の基本が身に付く本 法林岳之
 ほんとうのリーダーのみつけかた 梨木香歩
 1日1ページ、読むだけで身につく日本の教養365 齋藤孝

コンビニは通える引きこもりたち 久世芽亜里
 一生使える！プロカウンセラーの傾聴の基本 古宮昇
 子どもの自己肯定感を高める10の魔法のこぼれ 石田勝紀
 エンド・オブ・ライフ(2020 ノンフィクション大賞) 佐々涼子
 体を温める、わたしの習慣 石原結實
 大丈夫！何とかかなります毛細血管は若返る 根来秀行
 最高の睡眠ダイエット 山田BODY
 生きるのが下手な人へ 紀野一義
 「織細さん」の本 武田友紀
 ゴミ清掃員の日常・ミライ編 滝沢秀一
 くるくる巻いてすぐにおいしい肉巻きレシピ エダジュン
 塩水に漬けるだけ！乳酸発酵の体にいい！おいしいおかず 荻野恭子
 男の料理完全ガイド 弘兼憲史
 弘兼流60歳からの楽々男メシ
 悶絶ずばら飯 だれウマ
 きちんと祝いたい新しいおせちとごちそう料理 堤人美
 命を守るための掃除術
 木のストロー 西口彩乃
 使い勝手のいい、エプロンと小物 加藤容子
 かぎ針編みのマフラー&スヌード
 クリスマスマチーフ&オーナメントかわいいかぎ針編み
 小津映画の日常 朱宇正
 日本昭和アイドル通う大全
 風景写真の正しい撮り方
 マル農のひと 金井真紀
 D I Yの手作りガーデンBOOK
 世界一やさしい株・FX・投資信託の教科書1年生 梶田洋平
 行った気になる世界遺産 鈴木亮平
 おとめ六法 上谷さくら その他多数